

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)

【公開番号】特開 2011-147059 (P2011-147059A)
 【公開日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-030
 【出願番号】特願 2010-7980 (P2010-7980)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 16 日 (2013.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送番組に係る第 1 映像、及び該第 1 映像に関連する被写体を第 1 映像とは異なる視点で撮影した複数の第 2 映像のデータを受信する放送受信装置であって、

表示部に表示する映像を前記第 1 の映像から他の視点の映像に切り替える指示を受ける操作手段と、

前記表示部に表示する映像を前記第 1 映像から他の視点の映像に切り替える指示を受けた場合に、前記第 1 映像と前記複数の第 2 映像とを比較して類似度を判定する比較手段と、

前記比較手段で判定された類似度に基づいて、前記複数の第 2 映像のうち前記第 1 映像の視点に近い第 2 映像を決定して、決定した当該第 2 映像に基づく初期視点映像のデータを前記表示部に出力する出力手段を備えることを特徴とする放送受信装置。

【請求項 2】

前記第 1 映像のデータに含まれるコンテンツ情報を取得する取得手段をさらに備え、

前記比較手段は、取得した前記コンテンツ情報に基づいて設定される物体又は色について、前記第 1 映像と前記複数の第 2 映像とを比較することを特徴とする、請求項 1 記載の放送受信装置。

【請求項 3】

前記比較手段は、前記第 1 映像と前記複数の第 2 映像とを、画像全体又は画像中央部において比較することを特徴とする、請求項 2 記載の放送受信装置。

【請求項 4】

前記被写体を撮影したカメラの配置情報を取得する配置情報取得手段をさらに備え、

前記比較手段は、前記配置情報及び前記類似度に基づいて、前記第 2 映像を決定することを特徴とする、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の放送受信装置。

【請求項 5】

放送番組に係る第 1 映像、及び該第 1 映像に関連する被写体を第 1 映像とは異なる視点で撮影した複数の第 2 映像のデータを受信する放送受信装置であって、

前記第 1 映像のデータを録画する録画手段と、

録画済み前記第 1 映像のチャプタごとの開始映像のデータを抽出する抽出手段と、

前記第 1 映像の各チャプタの開始映像と前記複数の第 2 映像とを比較して類似度を判定

する比較手段と、

前記録画済み放送番組の再生時に、前記比較手段で判定された類似度に基づいて、前記複数の第２映像のうち各チャプタの開始映像の視点に近い第２映像を決定して、決定した当該第２映像に基づく初期視点映像のデータを生成する生成手段を備えることを特徴とする放送受信装置。

【請求項６】

放送番組に係る第１映像、及び該第１映像に関連する被写体を第１映像とは異なる視点で撮影した複数の第２映像のデータを受信する放送受信装置の制御方法であって、

表示部に表示する映像を前記第１の映像から他の視点の映像に切り替える指示を受ける操作工程と、

前記表示部に表示する映像を前記第１映像から他の視点の映像に切り替える指示を受けた場合に、前記第１映像と前記複数の第２映像とを比較して類似度を判定する比較工程と

、
前記比較工程で判定された類似度に基づいて、前記複数の第２映像のうち前記第１映像の視点に近い第２映像を決定して、決定した当該第２映像に基づく初期視点映像のデータを前記表示部に出力する出力工程を備えることを特徴とする放送受信装置の制御方法。

【請求項７】

前記第１映像のデータに含まれるコンテンツ情報を取得する取得工程をさらに有し、

前記比較工程では、取得した前記コンテンツ情報に基づいて設定される物体又は色について、前記第１映像と前記複数の第２映像とを比較することを特徴とする、請求項６記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項８】

前記比較工程では、前記第１映像と前記複数の第２映像とを、画像全体又は画像中央部において比較することを特徴とする、請求項７記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項９】

前記被写体を撮影したカメラの配置情報を取得する配置情報取得工程をさらに有し、

前記比較工程では、前記配置情報及び前記類似度に基づいて、前記第２映像を決定することを特徴とする、請求項６から８までのいずれか１項記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項１０】

放送番組に係る第１映像、及び該第１映像に関連する被写体を第１映像とは異なる視点で撮影した複数の第２映像のデータを受信する放送受信装置の制御方法であって、

前記第１映像のデータを録画する録画工程と、

録画済みの前記第１映像のチャプタごとの開始映像のデータを抽出する抽出工程と、

前記第１映像の各チャプタの開始映像と前記複数の第２映像とを比較して類似度を判定する比較工程と、

前記録画済み放送番組の再生時に、前記比較工程で判定された類似度に基づいて、前記複数の第２映像のうち各チャプタの開始映像の視点に近い第２映像を決定して、決定した当該第２映像に基づく初期視点映像のデータを生成する生成工程を有することを特徴とする放送受信装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決するために本発明に係る装置は、放送番組に係る第１映像、及び該第１映像に関連する被写体を第１映像とは異なる視点で撮影した複数の第２映像のデータを受信する放送受信装置であって、表示部に表示する映像を前記第１の映像から他の視点の映像に切り替える指示を受ける操作手段と、前記表示部に表示する映像を前記第１映像から他の視点の映像に切り替える指示を受けた場合に、前記第１映像と前記複数の第２映像と

を比較して類似度を判定する比較手段と、前記比較手段で判定された類似度に基づいて、前記複数の第2映像のうち前記第1映像の視点に近い第2映像を決定して、決定した当該第2映像に基づく初期視点映像のデータを前記表示部に出力する出力手段を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[第1実施形態]

以下、本発明の第1実施形態についてデジタル放送受信装置（以下、単に受信装置という）への適用例を説明する。受信装置は放送番組に係る第1映像（標準映像）と、該映像に関連する被写体を異なる視点で撮影した複数の第2映像（任意視点映像の生成用映像）のデータを受信可能である。例えば第2映像は、多数のカメラで被写体をあらゆる方向から撮影した任意視点映像の生成用映像としてインターネット経由でサーバから取得できる。なお、任意視点映像の生成用映像に関する取得方法や取得経路については本実施形態に限らず、任意視点映像が放送番組の標準映像と同時に放送されていてもよく、その方法及び経路の如何は問わない。